

(11) 鬼北ブロック（鬼北町、松野町）

～産地づくり～

「水稻」は、新品種の導入や主食用米の需要に即した生産に努めるとともに、スマート農業を推進し、生産振興を図ります。果樹では、特産の「ゆず」について地域品種の普及を図り、「くり」「もも」については、(株)源吉兆庵への安定供給を実現します。また野菜においては、「きゅうり」の産地復活を後押しし、需要拡大が見込める軽量野菜生産の振興を図るとともに、農地の整備を進め、新たなビジネスや地域特産品の開発についても取り組みます。

～推進品目や産地づくりの方向～

○「水稻」の大規模経営体育成と優良農地集積に向けた環境整備

【取組】

- ①新品種「ひめの凜」の普及拡大に向け、現地栽培適応性の確認や、栽培講習会を通じた技術指導による品質向上対策を実施
- ②大規模経営体の育成に向け、水管理システムやドローン防除、直播・密苗栽培等の省力化技術の導入に向けた実証試験を実施
- ③農村地域の持続的発展に向け、地域の将来像と目指すべき農業について、農家とふるさと保全計画を策定
農業用水の確保と農村地域の防災・減災を目的に、ため池の改修及び耐震補強や農業用排水路の整備を実施
- ④主食用の需要に即した生産、水田の有効活用を図るため、畜産農家と連携し、飼料米等の新規需要米の作付けを推進

【成果】

- ①「ひめの凜」栽培面積 R3:3.5ha → R4:5.2ha
- ②省力化技術導入に向けた実証試験の実施
(導入農家数：ドローン防除4戸、直播2戸、密苗栽培2戸、水管理システム1戸)
- ③・ふるさと保全計画策定に向け7集落で説明会を開催
・ため池の耐震補強：2ヶ所、農業用の排水路整備：4路線
- ④新規需要米作付け
・飼料用米作付 R3: 23.2ha → R4: 26.3 ha
・飼料用稲作付 R3: 14.9ha → R4: 19.3 ha



「ひめの凜」栽培実証



水田水管理システム導入による省力化の実証



ゆずの排水性改善実証

○ゆず「鬼北の香里」の産地化と高付加価値型栽培の実践

【取組】

- ①トゲの少ない有望品種「鬼北の香里」の導入推進による作業性の改善と園地の若返り
- ②付加価値を高めるため、有機JASに準じた栽培を推進
- ③省力化及び早期成園化にむけた栽培技術の実証と普及

【成果】

- ①ゆず「鬼北の香里」導入本数：約3,577本（R4年）
- ②管内ゆず集荷量：849トン（R4年・前年対比55%）
- ③有機JAS栽培準拠農家：621戸（R4年産）
- ④樹形改善による作業省力化および小型穴掘り機を用いた排水性改善実証（4ヶ所）



有機JASに準じた栽培指導

○加工用品種の栽培支援と(株)源吉兆庵への安定供給の確立

【取組】

- ①「くり」では、伐採林地を活用し、灌水・鳥獣被害防止設備を備えたくり大規模モデル園を設置し、早期成園化の実証や新規栽培者確保を推進
- ②「加工桃」では、排水対策モデル園を設置し、早期成園化の実証や収量向上を検討
- ③青玉早期収穫の実現に向け、工場での剥皮試験を実施

【成果】

- ①「くり」：モデル園若木樹容積1.5m³⇒5.7m³ (R4.10月時点)
- ②「加工桃」：排水対策モデル園収量21kg/樹(4年生)
- ③剥皮処理により、青玉でも問題なく生産ラインで剥皮可能



工場での加工桃剥皮試験

○キウイフルーツ花粉ビジネス栽培へのチャレンジ

【取組】

- ①農業法人への働きかけと営農相談、町との連携等、新規栽培農家の掘り起こしを推進
- ②核となる農家の栽培技術の向上を図り、早期成園化を推進
- ③花粉の採取精製・検査・保管体制を支援

【成果】

- ①キウイ花粉ビジネス営農相談 3件
- ②早期成園指導による樹冠拡大達成 花粉初収穫 0.22kg
- ③農家、関係機関との花蕾採取や精製等について講習会や研修会等を開催し、花粉の安定供給体制を構築



キウイ花粉増産に向けた剪定講習会の実施

○鬼北地域におけるきゅうり産地の再興支援

【取組】

- ①経営モデルの提示及び施設整備の検討、補助事業等の活用など一貫した支援による新規栽培者確保と栽培面積拡大を推進
- ②収益向上に向けた品種更新と、ハウス内部機能性向上を目的とした構造改修による誘引方法改善を推進
- ③労働時間短縮に向けた共選共販への誘導

【成果】

- ①新規栽培者：4人、栽培面積拡大：45a増加 計361a
- ②・品種更新：半促成1品種決定、露地3品種実証栽培(2件)
・ハウス内部改修：4ヶ所(4戸導入)
- ③共選共販体制への誘導：4戸(基準年:R2)→23戸



新規栽培者の技術研修

○地域の優れた特産品の育成

【取組】

- ①うめ
・生産者の作業負担軽減のための技術実証や、新たな加工品の開発・販売
- ②鬼北熟成雉
・新規生産者の掘り起こし及び飼育労力軽減等による生育状況の検証

【成果】

- ①うめ
・作業労力軽減技術(春季摘心処理)のモデル園設置：1ヶ所
・収穫体験研修(北宇和高校)の開催と販売体制構築の推進
- ②鬼北熟成雉
・新規生産候補者(研修生)(1人)
・自動給餌機及び飼料米添加機等の導入による飼育管理徹底の推進



北宇和高校生が開発したうめジャム



きじ飼育候補者の研修状況

～地域づくり～

「水稻」では、規模拡大に伴う省力化技術の普及を図り、経営多角化や集落営農の組織化により、中山間地における「水稻」を中心とした農業経営の安定と地域農業の維持発展を目指します。また、農業支援センター等と連携し、認定農業者や女性等による6次産業化やグリーン・ツーリズムなど、多様な担い手が活躍できる地域づくりを推進します。また、荒廃農地拡大の最大要因となっている鳥獣被害対策に取り組むとともに、獣肉資源の有効活用に努めます。豊かな自然や豊富な食材等の地域資源を活用して都市との交流を促進します。

～推進対象や地域づくりの方向～

○大規模経営体の育成と競争力のある農業経営支援

【取組】

- ①各町及び農業公社と連携し、水田地帯での農地集積による荒廃農地対策を推進
- ②優良経営体の法人化を進めるため、各種補助事業や新技術の導入を図ったほか、人・農地プランに位置づけられた担い手を競争力の高い経営体に育成
- ③多面的機能を有する農地等の地域資源を適切に保全管理するため、地域ぐるみで取り組む共同活動を支援
- ④鳥獣被害の軽減を図るため、侵入防止柵設置や捕獲等による獣肉の有効活用を進めるとともに、加工施設の新設整備を推進

【成果】

- ①管内荒廃農地面積：30.2ha(基準年:R2▲4.6ha)
- ②規模拡大に伴う省力化技術の導入：3経営体、経営の多角化による各種補助事業の導入：1経営体
- ③共同活動
 - ・鬼北町：多面的機能支払21組織（416ha）、中山間地域等直接支払22組織（143ha）
 - ・松野町：多面的機能支払14組織（185ha）、中山間地域等直接支払20組織（182ha）
- ④獣害対策：侵入防止柵の設置：6,888m
 - ・県内広域活用を視野に入れた有害鳥獣処理施設（減容化）の稼働（鬼北町：令和4年6月～）
 - ・「NPO法人 森の息吹」が直販所開設（松野町：令和4年6月～）、同所でのジビエ料理研究及びレシピ普及講座の開催



大規模経営体の競争力強化学習会



省力化技術の導入
(農薬散布用ドローン)

○多様な担い手の育成（就農支援・集落営農組織体制整備）

【取組】

- ①認定農業者や農地所有適格法人の育成と、高齢化と兼業化に対応した就農支援や営農体制整備を推進
- ②地域おこし協力隊や・Uターン就農の促進を図るため、組織間の連携や就農しやすい環境整備を推進
- ③スマート農業の推進、高付加価値型農業経営の推進
- ④学校と連携した食農教育活動による次代の育成

【成果】

- ①重点対象選定による認定・新規就農者支援4人、集落営農1集落
- ②Uターン就農1戸、家族経営協定締結1戸、農業研修施設2→3
- ③スマート農業の実証、農作業ロボット実演、農作業安全講習
- ④食農教育・農業体験学習活動支援(小学校6校、中学校2校)



ロボット草刈り機の実演

○都市との交流促進（地域資源活用）

【取組】

- ①直売所等交流拠点を核とした「鬼のまち」「森の国」ブランドを育てると共に、拠点の整備・拡充や農林漁家民宿の開業支援
- ②他県の修学旅行生受け入れに向けた受け入れ研修及び体制整備
- ③農業の振興と都市住民との交流による地域活性化を推進

【成果】

- ①株式会社日吉産地が農林水産祭むらづくり部門で農林水産大臣賞受賞(鬼北町)。自然環境米“鬼北のせせらぎ”商品化支援
- ②森の国GTクラブが東京都から修学旅行受け入れ実施：1校
- ③生活研究Gが世界マーマーレードアワード日本大会で金賞受賞



地域資源を活用した
6次産業化商品の開発